

在宅医療などにおいて簡便な X 線検査を実現 総重量 3.5kg で軽量・小型の携帯型 X 線撮影装置 カルネオ エックスエアー 「CALNEO Xair」

● 新発売 ●

2018 年 9 月 26 日

富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、手軽に持ち運ぶことができる携帯型 X 線撮影装置「CALNEO Xair(カルネオ エックスエアー)」を、富士フイルムメディカル株式会社(社長:新延 晶雄)を通じて 10 月 1 日より発売します。本製品は、総重量 3.5kg の軽量・小型で携帯性に優れており、在宅医療での撮影など、スペースが限られた場所での簡便な X 線検査と画像確認をサポートします。本製品は、当社の画像読取技術である ISS 方式^{※1}を採用した FPD(X 線画像平面検出器)^{※2}と、ノイズ低減回路^{※3}を搭載した X 線画像診断装置(以下、カセット DR)「FUJIFILM DR CALNEO Smart(カルネオ スマート)」^{※4}のような高感度検出に対応したカセット DR を利用することで低線量でも高画質な画像を得ることができます。

日本は、超高齢化社会を迎えており、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年には、高齢者の割合が人口の 3 割に達するとみられています。このような中、政府は、重度の要介護者が、できる限り住み慣れた地域で療養できるように、在宅医療の普及を推進しています。

在宅医療で扱われる症例は多岐に亘り、例えば、誤えん性肺炎^{※5}や転倒などによる骨折のケースでは、入院の必要性を判断するために、在宅での X 線検査が強く望まれています^{※6}。しかし、現在在宅医療で用いられている可搬型の X 線撮影装置は、機材が重く、医療施設からの運搬が困難です。また、在宅で撮影しても、医療施設に戻るまで撮影した画像を確認できないなどの課題があります。

今回発売する「CALNEO Xair」は、在宅医療などにおいて簡便な X 線検査を実現する携帯型 X 線撮影装置です。総重量約 3.5kg で、医療施設から在宅療養者宅への運搬や、撮影準備が簡単に行えます。

本製品での撮影時に、当社の画像読取技術である ISS 方式とノイズ低減回路を用いた当社カセット DR「カルネオ スマート」のような高感度検出に対応したカセット DR を利用することで、低線量でも高画質な画像が得られます。また、カセット DR に付属するノート PC 型コンソールを使えば、撮影した画像をその場ですぐに確認できるため、後日の再訪問を伴う再撮影を防止することができます。さらに、撮影部位に合わせて撮影条件を 3 つまで登録できる機能や、AC ケーブルからの給電なしで撮影できる内蔵式バッテリーを搭載し、住宅内など限られたスペースでの撮影や、災害現場など幅広いシーンでの活用が期待されます。

富士フイルムは、今後もさまざまな医療現場のニーズに応え、検査の効率化と医療の質の向上、人々の健康維持増進に貢献していきます。



- ※1 ISS(Irradiation Side Sampling)方式。センサー(TFT パネル)を、X 線照射面側に配置する方式。従来方式の FPD(X 線画像平面検出器)に比べ、より減衰が少ない段階の X 線エネルギーを光信号に変換でき、X 線エネルギーの変換効率を高めることができる。
- ※2 Flat Panel Detector の略。被写体を通過して照射される X 線エネルギーを検出し、電気信号に変換する、画像平面検出器のこと。
- ※3 X 線情報をセンシングする性能を高め、かつ X 線を低ノイズで検出することを可能とした電気回路。
- ※4 販売名: デジタルラジオグラフィ DR-ID 1200/認証番号: 226ABBZX00085000
- ※5 物を飲み込む機能の低下などにより、唾液や食べ物、あるいは胃液などと一緒に細菌を気道に誤って吸引することにより発症する肺炎。
- ※6 平成 25 年「在宅医療における医療機器等ニーズ調査」(厚生労働省)

記

1.品名

CALNEO Xair

(販売名 : ポータブル X 線撮影装置 XD2000 認証番号 : 第 230ABBZX00077000 号)

2.発売日

2018 年 10 月 1 日

3.主な特長

(1)小型・軽量化による優れた携帯性を実現

総重量 3.5kg の小型サイズで、優れた携帯性と取り回しやすさを実現しました。

本製品は、当社のカセット DR「カルネオ スマート」のような高感度検出に対応したカセット DR を利用することで、低線量でも高画質な画像が得られます。また、カセット DR 付属のノート PC 型コンソールを使えば、撮影した画像をその場ですぐに確認することができるため、後日の再訪問を伴う再撮影を防止することができます。

(2)内蔵バッテリーでの撮影が可能

電源がない環境でも、内蔵バッテリーによる撮影が可能です。在宅医療だけでなく、災害現場など幅広いシーンでの活用が期待されます。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係 富士フイルム株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-6271-2000

お客様 富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 マーケティング部

TEL:03-6419-8033